

市民アンケート速報No.8  
6/5まで 8895通

6月にはいり、数は減ったものの、毎日二桁のアンケートが返ってきています。NPO法人かながわ総研から4200通分の集計結果がでましたので、そのデータの一部をご紹介します。

男性45%、女性44%と男女比はほぼ同数、年代は20歳代以下4%、30・40歳代各11%、50歳代12%、60歳代25%、70歳代以上32%、不明6%です。

政治施策で充実してほしいものを32項目からいくつでも選択する設問では、全体でみると、一番多いのは介護保険料・介護利用料の引き下げ54%、次いで国民健康保険料の引き下げ52%、各種税金の軽減策の拡充45%、救急医療など身近な医療機関の充実44%、特別養護老人ホームの増設42%となっており、ほっとラインNo.263でお知らせした3700通の集計と同様の傾向です。

年代別にみると、若い世代は子どもに関する要求が多く、年齢が上につれて介護保険・特養ホームに関する要求が多くなっています。また、40歳代では中学校給食、50歳代では失業者対策、70歳代以上では敬老パスが上位にあがっています。

全年代を通じて要求が高いのは各種税金や国保料の軽減で、生活が苦しくなっているなかで、税金や保険料などが生活を圧迫している様子がうかがえます。

政治施策で充実してほしいもの年代別トップ5(件数)

二十歳代以下	1	小児医療費を小学校卒業まで無料化	77	46.7%
	2	お産のできる病院の増設	75	45.5%
	3	国民健康保険料の引き下げ	72	43.6%
	4	保育所の増設と入所待機児の解消	68	41.2%
	5	各種税金の軽減策の拡充	66	40.0%
20歳代以下 165件				
三十歳代	1	小児医療費を小学校卒業まで無料化	251	56.5%
	2	保育所の増設と入所待機児の解消	196	44.1%
	3	お産のできる病院の増設	195	43.9%
	4	各種税金の軽減策の拡充	190	42.8%
	5	国民健康保険料の引き下げ	185	41.7%
30歳代 444件				
四十歳代	1	国民健康保険料の引き下げ	199	43.5%
	2	各種税金の軽減策の拡充	196	42.9%
	3	救急医療など身近な医療機関の充実	193	42.2%
	4	介護保険料・介護利用料の引き下げ	184	40.3%
	5	中学校給食の実施	173	37.9%
40歳代 457件				
五十歳代	1	国民健康保険料の引き下げ	239	47.9%
	2	介護保険料・介護利用料の引き下げ	226	45.3%
	3	各種税金の軽減策の拡充	219	43.9%
	4	失業者への生活・住宅・再就職支援	213	42.7%
	5	救急医療など身近な医療機関の充実	212	42.5%
50歳代 499件				
六十歳代	1	介護保険料・介護利用料の引き下げ	656	61.8%
	2	国民健康保険料の引き下げ	631	59.5%
	3	特別養護老人ホームの増設	530	50.0%
	4	救急医療など身近な医療機関の充実	495	46.7%
	5	各種税金の軽減策の拡充	492	46.4%
60歳代 1061件				
七十歳代以上	1	介護保険料・介護利用料の引き下げ	950	70.6%
	2	国民健康保険料の引き下げ	767	57.0%
	3	特別養護老人ホームの増設	727	54.1%
	4	救急医療など身近な医療機関の充実	694	51.6%
	5	敬老パスの負担軽減・利用範囲の拡大	691	51.4%
70歳代以上 1345件				

6/5まで	青葉	旭	泉	磯子	神奈川	金沢	港南	港北	栄	瀬谷	都筑	鶴見	戸塚	中	西	保土ヶ谷	緑	南	市外	未記入等	合計
	362	761	430	396	522	594	685	522	384	422	166	756	591	197	233	592	470	494	3	315	8895